

受付前チェック項目

確認審査申込受理時に0～9の項目についてチェックします。
 該当項目が満たされていない場合受付できませんので、提出前にご確認ください。
 なお、このシートは確認申請時に提出してください。

報告者

印

建 築 主	
申 請 地	

確 認 内 容				
0	<p>提出図書(アンダーラインは全てに必要な書類)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 正本 副本 消防用 適判用 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 委任状 建築計画概要書 建築工事届 敷地調査報告書等 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> 構造計算安全証明書の写し 工場危険物調書 浄化槽設置調書(4部) 法53条の2第3項に係る報告書 消防用設備等設置計画書 工事監理者選定届 </td> </tr> </table>	正本 副本 消防用 適判用	委任状 建築計画概要書 建築工事届 敷地調査報告書等	構造計算安全証明書の写し 工場危険物調書 浄化槽設置調書(4部) 法53条の2第3項に係る報告書 消防用設備等設置計画書 工事監理者選定届
正本 副本 消防用 適判用	委任状 建築計画概要書 建築工事届 敷地調査報告書等	構造計算安全証明書の写し 工場危険物調書 浄化槽設置調書(4部) 法53条の2第3項に係る報告書 消防用設備等設置計画書 工事監理者選定届		
1	<p>相互の整合性を確認してください。 正本及び副本の添付書類の整合性 申請書第2面の記載と委任状との確認 施行規則第1条の3、表1に掲げる図書の添付の有無</p>			
2	<p>設計者及び監理者の業務範囲を確認してください。 設計者及び監理者の資格に応じた業務範囲の確認</p>			
3	<p>設計者の業務範囲を確認してください。(構造設計一級建築士) 自ら設計を行ったもの 法適合確認を行ったもの</p>			
4	<p>設計者の業務範囲を確認してください。(設備設計一級建築士) 自ら設計を行ったもの 法適合確認を行ったもの</p>			
5	<p>設計者の記入及び押印の確認してください。 申請書第1面 設計図書 計算書の表紙 構造関係規定(構造設計一級建築士) 設備関係規定(設備設計一級建築士)</p>			
6	<p>認定型式・認証型式部材等を有する建築物の場合、認定書・認証書の写しが必要です。 認定型式、認証型式部材、構造認定に係る認定書等の写しの添付の確認</p>			
7	<p>構造計算によって建築物の安全性を確かめた旨の証明書の添付が必要です。 (構造設計一級建築士が関与しない物件のみ) 証明書の写し(証明書と構造計算書に割印)</p>			
8	<p>構造計算適合判定の有無を確認してください。 「証明書の写し」により確認(構造設計一級建築士が関与しない物件) 構造計算書により確認(構造設計一級建築士が関与する物件)</p>			
9	<p>建築基準関係規定の証明書等の写しが必要な場合、添付を確認してください。 都市計画法以外の関係規定の証明書の写し 都市計画法の規定に基づく許可証の写し・・・ 都市計画法の規定に基づく検査済証の写し(接道要件に係るもの)・・・ 都市計画法施行規則第60条の規定に基づく証明書(以外のもの)</p>			